

## 助産師資格取得後の助産師業務達成度

### — 卒後 1～2 年の助産師を対象として —

神奈川県立保健福祉大学	○加藤 尚美
沖縄県立看護大学	賀数 いづみ
天使大学大学院	園生 陽子
琉球大学	宮城 万里子

#### I 緒言

ここ数年、助産師教育の卒業時の到達目標や、卒業後の経年別の到達目標等が明らかにされているが、卒後のキャリア育成は個人の専門職としての向上心や、自助努力に任されている。そこで、宮中らが提示している「助産師業務の経年別教育の達成目標」を基に卒後 1～2 年の助産師の業務達成度の実態を把握し卒後の教育に資すること目的とした。

#### II 方法

調査期間：2004 年 1 月～2 月末 対象：九州・沖縄地区の全国助産師教育協議会加入 17 校の卒業生で近県に助産師として勤務している卒後 1-2 年の産科領域の臨床経験者各校 2 名を依頼し 34 名を対象とした。回答は郵送にて回収した。

調査項目は、資格取得時期、年齢、現在の勤務場所、助産師業務達成度である。助産師の経年別達成度は、5 カテゴリーに分類されたものを 3 段階法で「できる」「少しできる」「できない」で回答を求めた。なお、倫理的配慮として個人が特定されないこと、設問の回答を拒否することができる旨を説明し承諾を得られた助産師とした。

#### III 結果

##### 1. 回答者の属性

助産師 19 名(55.8%)より回答を得た。対象者の教育背景は大学卒 2 名、短期大学専攻科卒 4 名、専門学校 13 名、資格取得年齢は 23 歳～29 歳であった。勤務場所は、産科棟で主たるケア対象者は全員が妊産褥婦、新生児であった。

##### 2. 卒後 1～2 年助産師の業務達成度 (表 1)

卒後 1～2 年で求めている助産師業務達成度のカテゴリー別達成度「できる」の自己評価は、助産ケア 37.4%、教育・相談技術 23.7%、助産管理 68.5%、教育・研究 10.5%、専門職としての人間的成長 31.4%であった。項目別で「できる」の回答者が 50%以上のものは、助産ケアのカテゴリーでは、妊産婦・新生児の基本的なケアができる 57.9%、助産管理のカテゴリーでは、入院・退院の取り扱いができる 73.7%、産科病棟のチームメンバーとしての役割が取れる 63.2%、対象のケアに対して責任を持ち業務を始める 63.2%、専門職としての人間的成長のカテゴリーでは、誠意を持って助産業務にあたる 63.2%であった。また、20%以下のものは教育・研究のカテゴリーで、経験した事例を事例報告にまとめる、文献を実際に活用できる

は 10.5%、専門職としての成長の категорияでは、チームの役割と協調性を育てる 11.1%、教育/相談の categoriaでは入院中の対象への個別指導ができるは 1 人もいなかった。

#### IV 考察

助産ケアの categoriaの妊産婦・新生児の基本的なケアが「できる」という自己評価は 57.9%であるが、卒業後 1～2 年の助産師の業務達成で「できる」というレベルには達していない。卒業後 1～2 年の助産師が業務達成「できた」と自己評価するには困難を要したことも否定できないが、「できる」レベルに達することが必要である。また、教育・研究の categoriaの項目は 20%以下である。近年「まとめる」「考える」という教育が強化されている今、受けた教育が現場で生かされていない状況であるか、現場で必要としていないのか、今後の課題である。助産師の自立を求めると、職場環境の良否と共に各自の目的意識、努力等は不可欠であるが常に専門職としてキャリア形成過程で目標を設定し一定の水準を保つていくために更なる業務達成目標の妥当性の検討が必要である。

#### V 結論

卒後 1～2 年の助産師の達成状況で「できる」の自己評価 50%以上は、14 項目中 6 項目であり、助産管理の項目では 4 項目すべてが 50%以上であった。本調査は調査対象者が少なく評価として限界があるが、今調査をふまえ業務達成の妥当性を検討し、実現可能な助産師業務達成目標を共有したい。(本調査は全国助産師教育協議会教育業務委員会で行われた課題研究の一部である)

表 1 卒後 1～2 年助産師の業務の目標達成 n=19 (%)

カテゴリー	卒後 1～2 年の達成目標・項目	できる	少しできる	できない
助産ケア	・ 妊産婦・新生児の基本的ケアができる	57.9	36.8	5.3
	・ 正常分娩の助産診断・技術が自立して実施できる	33.3	61.1	5.6
	・ 正常分娩の逸脱時に必要な対処ができる	21.1	73.6	5.3
教育・ 相談技術	・ 入院中の妊産婦を対象に、母性の心理・社会的側面の理解に基づいた個別指導ができる	0.0	89.5	10.5
	・ 授乳指導、沐浴指導、退院指導、母親教室を各施設の基準に沿って実施できる	47.4	47.3	5.3
助産管理	・ 入院・退院の取り扱いができる	73.7	26.3	0.0
	・ 産科病棟のチームメンバーとしての役割が取れる	63.2	36.8	0.0
	・ 対象のケアに対して責任を持ち業務を始める	73.7	26.3	0.0
	・ 医療事故防止と助産師の法的責務の理解	63.2	36.8	0.0
教育・研究	・ 経験した事例を事例報告にまとめる	10.5	52.7	36.8
	・ 文献を実践に活用できる	10.5	63.2	26.3
専門職とし ての成長	・ 専門職業人としての自覚を高める	27.7	66.7	5.6
	・ チームでの役割と協調性を育てる	11.1	77.8	11.1
	・ 責任を持って助産業務にあたる	63.2	36.8	0.0